

令和7年度 東広島医療センター 医師労働時間短縮計画

計画期間

令和7年4月～令和8年3月末

対象医師)

常勤・期間医師 (84 名)

非常勤医師 (11 名)

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

（1）労働時間数

常勤・期間医師 (84 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	552	550	550
最長	952	950	950
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

非常勤医師 (11 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	156	150	150
最長	828	820	820
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	勤務時間管理システムによる労働時間管理
当年度の取組目標	勤務時間管理システムによる労働時間管理
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	宿日直許可に基づき適切に取り組む
当年度の取組目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	自己研鑽の労働時間該当性を明確にするための手続を周知する。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【36 協定の締結】

前年度の取組実績	36 協定の遵守、正確な勤務実態把握。
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

【安全衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	安全衛生委員会の月 1 回開催と健康診断を年 2 回の実施する。
当年度の取組目標	上記事項に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

【年次休暇取得の促進】

前年度の取組実績	全医師が年次休暇 5 日取得達成
当年度の取組目標	年次休暇を 5 日以上取得する、リフレッシュ休暇も含めた長期休暇取得の促進。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

（３）意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績	国等が実施する病院長向けの研修会に病院長が参加する
当年度の取組目標	国等が実施する病院長向けの研修会に病院長、副院長、統括診療部長が参加する。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

（４）策定プロセス

幹部職員及び医師、看護師、コメディカル、事務職員 20 名が参画する医療従事者業務負担軽減対策委員会を年 3 回程度開催し、前年度計画の評価を行い次年度の計画を検討し策定する。計画策定後は当該計画を院内ホームページに掲示している。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（１）タスク・シフト／シェア

【看護師】

項目	対応方針	具体的な取組
特定行為研修修了者の活用	特定行為研修修了者が手順書により特定行為を行う。	特定行為研修修了者が日勤時はフリー体制になるように計画し医師からの依頼があった場合に特定行為を実践する。

【医師事務作業補助者】

項目	対応方針	具体的な取組
医師事務補助者の雇用促進	医師事務補助者の雇用確保、増員により、現在外来補助やサマリー作成補助を行えていない医師に対しても補助を行う体制を構築する。	応募から採用面接までの時間短縮（良い人材の早期確保）柔軟な勤務時間・勤務線表による採用（週 40 時間等）
組織体制の見直し	一部常勤採用を行う。	各チームに常勤職員であるリーダーを配置。原則、常勤職員は他チームへの異動を行うも

		のとする。
医師事務補助者の定着	医師事務補助者のスキルアップを図る。	医師事務作業補助者資格試験の受験を奨励し賃金単価増のキャリアパスを周知する。
医師事務補助者の離職防止	医師事務作業補助者の労働環境の改善を図る。	医師事務作業補助者の離職防止に向けてアンケート・面談を行い労働環境の改善を図る。
医師事務補助者配置の均てん化	医師事務作業補助者を不足部署へ配置する。	勤務医にアンケートを実施し、医師事務補助者をより勤務医のニーズに合った配置、業務分担になるよう検討を行う。
医師の事務作業軽減①	診断書の作成補助対象文書を増やす。	原則として全ての文書を医師事務作業補助者が作成補助できるような体制を整える。 →手書き文章の作成補助拡大
医師の事務作業軽減②	退院サマリーの作成補助のスキルを上げる。	専門研修等によりスキルアップをはかり迅速かつ精度の高いサマリー作成補助を行う。
医師事務補助者の教育・研修体制の充実	医師事務作業補助者全体のレベルアップを図るための研修等の企画を行う。	医師事務作業専門員（DA 常勤）の採用により、採用時の研修に加え、定期的な教育研修を実施する体制を構築する。

【診療情報管理士】

項目	対応方針	具体的な取組
診療情報管理業務の充実。	診療計画の作成や研究がスムーズに行えるようにする。	医師から求められる臨床データの迅速かつ的確な提供を行う。 積極的な募集活動を行う

【診療放射線技師】

項目	対応方針	具体的な取組
RI 検査時の静脈路を確保と RI 検査医薬品の投与する行為及び投与終了後の抜針と止血する行為。	令和 3 年 10 月から診療放射線技師法が改正され、項目の行為が可能になった。5 年計画で日本放射線技師会の 700 分の抗議の受講と 385 分の実技の受講で可能になる。	令和 4 年 1 月より、側管より RI 検査医薬品を投与する行為、投与終了後に抜針及び止血する行為を実施し済。さらに講義と実技の受講を推進する。

【臨床検査技師】

項目	対応方針	具体的な取組
----	------	--------

医療関係職種の業務範囲見直し	医師の負担軽減に繋がる研修の受講	計画的且つ積極的に受講していく。 病理医が日頃実施している術材臓器切出し作業を病理医に代わり臨床検査技師が行う。
----------------	------------------	---

（２）医師の業務の見直し

【外来診療時間の短縮、他の保険医療機関との連携による外来縮小】

項目	対応方針	具体的な取組
他の保険医療機関との連携による外来縮小	地域の他の保険医療機関との連携を強化し、病院機能の特性に応じた医療の提供を行う。	地域の他の保険医療機関とし連携し、退院時の他院への紹介を推進し、外来患者の診療所等への誘導を行う。
医師会や東広島市等の関係機関との協力	救急医療の受診方法について市民啓発を行う。	病院と診療所の役割分担、診療体制や受診にあたっての留意点の情報提供を充実させる。 一次救急公示から二次救急公示のみへのシフト。
開業医からの紹介	外来受診はできるだけ情報提供書を付けて予約を取っていただく。	紹介状作成時は、地域連携を通じて予約を取っていただくようにクリニックに働きかける。
紹介患者の増加	地域医療機関訪問の増加と訪問の質の向上を図る。	地域医療機関訪問に際しては、必ず当該診療科の長が行う。 事前に地域連携室や経営企画室等と打ち合わせの上、何を願うのか、訪問時資料作成も含め、訪問の質向上を目指す。

（３）その他の勤務環境改善

【その他の業務負担軽減】

項目	対応方針	具体的な取組
電子カルテ入力作業の軽減化	アミボイス導入拡充の検討	現在導入、使用している部署からの聞き取りを行い、未導入の部署への水平展開を図

		る。
委員会、会議の見直し	出席メンバーの見直し	各委員会、会議の長による出席メンバーの見直し（削減）を行う。
スマホ活用の検討	全職員に導入が決定しているスマホの有効活用を図る。	通話機能以外に、病院としてスマホをどのように活用するのか、医療情報管理室会議、あるいは別にWGを設けて検討することで、大きな働き方改革に繋げる。
医療DXの推進	“医療DXを推進し、業務負担軽減、働き方改革を図る。	・音声自動対応等による電話交換業務の効率化 ・院内搬送ロボット導入の検討 ・電カル等の院外リモートアクセス検討

【時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減】

項目	対応方針	具体的な取組
連続当直を行わない勤務体制の実施	オンコール待機も含め、2夜連続での割り当てをしない。	当直、オンコールのスケジュールを作成する際は配慮を行う。
当直翌日の業務内容に対する配慮	当直翌日の勤務中に十分な休憩が取れるように配慮。当直中も休憩時間を確保し、翌日の負担を軽減する。	専用の休憩室を設ける。 当直明けの翌日年次休暇の推奨
前日の終業時刻と翌日の始業時刻の勤務間インターバルの確保	勤務時間管理により一定時間の休息時間の確保を促進する。	前日の終業時刻と翌日の始業時刻の勤務間インターバルの確保。
交代制勤務の検討	夜間においても日中と同程度の診療を提供する必要があるような状況が恒常的になった場合は検討する。	時間外救急外来患者数を把握する。

（４）副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

※医師の副業・兼業なし

（５）C－１水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化

※C－１水準を適用なし

(別添 1) 水準別、診療科別の労働時間に関する資料

「診療科別の目標」（白色セル）のみを記入。「診療科別」以降（灰色セル）については、シート「別添1作成票」に記入することにより作成。

[illegible]

入力区分		診療科区分		単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	合計		
					0 1 内 科	0 2 呼 吸 器 内 科	0 3 循 環 器 内 科	0 4 消 化 器 内 科 （胃 腸 内 科）	0 5 腎 臓 内 科	0 6 脳 神 経 内 科	0 7 糖 尿 病 内 科 （代 謝 内 科）	0 8 血 液 内 科	0 9 皮 膚 科	1 0 ア レ ル ギ ー 科	1 1 リ ウ マ チ 科	1 2 感 染 症 内 科	1 3 小 児 科	1 4 精 神 科	1 5 心 療 内 科	1 6 外 科	1 7 呼 吸 器 外 科	1 8 心 臓 血 管 外 科	1 9 乳 腺 外 科	2 0 気 管 食 道 外 科	2 1 消 化 器 外 科 （胃 腸 外 科）	2 2 泌 尿 器 科	2 3 肛 門 外 科	2 4 脳 神 経 外 科	2 5 整 形 外 科	2 6 形 成 外 科	2 7 美 容 外 科	2 8 眼 科	2 9 耳 鼻 い ん こ う 科	3 0 小 児 外 科	3 1 産 婦 人 科	3 2 産 科	3 3 婦 人 科	3 4 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	3 5 放 射 線 科	3 6 麻 酔 科	3 7 病 理 診 断 科	3 8 臨 床 検 査 科	3 9 救 急 科	4 0 集 中 治 療 科	4 1 臨 床 研 修 医	4 2 そ の 他 診 療 科 ・ 部 門 （医 療 を 行 う 医 師）	4 3 そ の 他 診 療 科 ・ 部 門 （医 療 を 行 う 医 師 以 外）			
C-1（専 攻医）	①特定対象医師数	人																																																
	②特定対象医師のうち年間の時間外・休日労働時間が960時間超となった者（※1）の人数	人																																																
	③特定対象医師のうち年間の時間外・休日労働時間が960時間超となった者（※1）の平均時間	時間																																																
	④特定対象医師の年間の時間外・休日労働時間の最長時間	時間																																																
C-2	①特定対象医師数	人																																																
	②特定対象医師のうち年間の時間外・休日労働時間が960時間超となった者（※1）の人数	人																																																
	③特定対象医師のうち年間の時間外・休日労働時間が960時間超となった者（※1）の平均時間	時間																																																
	④特定対象医師の年間の時間外・休日労働時間の最長時間	時間																																																

※1 特定対象医師として36協定を締結していた（名簿管理されていた者を含む）が、結果的に960時間以内となった者は除く。

※2 医師の自己申告等により把握した副業・兼業先の労働時間を通算した時間外・休日労働時間数であることに留意する。

※3 確認期間の途中から当該医療機関で勤務することとなった医師については、当該医療機関で勤務する前に勤務していた医療機関における時間外・休日労働時間を加味した時間とする（確認期間の範囲内で加味）。

※4 C-1水準における研修プログラム／カリキュラム内の各医療機関の臨床研修医、専攻医においても※3と同様とする。

(別添2-1) 労働時間短縮に向けた取組（タスク・シフト／シェア）

取組の状況は「業務内容」毎に医療機関内のすべてで実施している場合のほか、一部の診療科、一部の病棟等で実施している場合も考えられることから、医療機関内のすべてで実施している場合には「○全部実施」を、一部の診療科や病棟等で実施している場合には「△一部実施(5割以上)」又は「▲一部実施(5割未満)」を選択すること。また、実施していない場合は空欄とし、当該医療機関には該当する業務がない場合は「－該当業務なし」を選択すること。

(1) タスク・シフト／シェア

職種	業務内容		取組目標 ※R7以降は当年度の 取組目標を記入	取組実績 [年度始期] ※前年度までの実績	取組実績 [確認時点]
看護師	特定行為（行為区分）の実施 （内訳）	1	特定行為（行為区分）の実施		
		1-1	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○:全部実施	○:全部実施
		1-2	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○:全部実施	○:全部実施
		1-3	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	○:全部実施	○:全部実施
		1-4	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	○:全部実施	○:全部実施
		1-5	人工呼吸器からの離脱	○:全部実施	○:全部実施
		1-6	気管カニューレの交換	○:全部実施	○:全部実施
		1-7	一時的ペースメーカの操作及び管理	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-8	一時的ペースメーカリードの抜去	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-9	経皮的心肺補助装置の操作及び管理	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-10	大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-11	心嚢ドレーンの抜去	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-12	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-13	胸腔ドレーンの抜去	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-14	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-15	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-16	膀胱ろうカテーテルの交換	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-17	中心静脈カテーテルの抜去	○:全部実施	○:全部実施
		1-18	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	○:全部実施	○:全部実施
		1-19	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-20	創傷に対する陰圧閉鎖療法	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-21	創部ドレーンの抜去	○:全部実施	○:全部実施
		1-22	直接動脈穿せん刺法による採血	○:全部実施	○:全部実施
		1-23	橈骨動脈ラインの確保	○:全部実施	○:全部実施
		1-24	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-25	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○:全部実施	○:全部実施
		1-26	脱水症状に対する輸液による補正	○:全部実施	▲一部実施(5割未満)
		1-27	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-28	インスリンの投与量の調整	○:全部実施	○:全部実施
		1-29	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	○:全部実施	○:全部実施
		1-30	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	○:全部実施	○:全部実施
		1-31	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-32	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-33	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-34	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		1-35	抗けいれん剤の臨時の投与	○:全部実施	○:全部実施
		1-36	抗精神病薬の臨時の投与	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-37	抗不安薬の臨時の投与	○:全部実施	－:該当業務なし
		1-38	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整	－:該当業務なし	－:該当業務なし
	事前に取り決めたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施	2	予め特定された患者に対し、医師の事前の指示の下、事前に取り決めたプロトコールに沿って薬剤を投与する	○:全部実施	○:全部実施
		3	予め特定された患者に対し、医師の指示に基づき、事前に取り決めたプロトコールに沿って採血・検査を行う	○:全部実施	○:全部実施
	救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく採血・検査の実施	4	救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示や取り決めたプロトコールに基づく、医学的検査のための血液検査の検査オーダーの入力・採血・検査の実施	－:該当業務なし	－:該当業務なし
	血管造影・画像下治療（IVR）の介助	5	血管造影・血管内治療中の介助・IVR(画像下治療)の介助終了後の圧迫止血・止血確認・圧迫解除を含む	○:全部実施	△一部実施(5割以上)
	注射、採血、静脈路の確保等	6	ワクチン接種	○:全部実施	▲一部実施(5割未満)
		7	皮下注射・筋肉注射・静脈注射（小児・新生児を含む）	○:全部実施	△一部実施(5割以上)
		8	静脈採血（小児・新生児を含む）	○:全部実施	△一部実施(5割以上)
		9	動脈路からの採血（小児・新生児を含む）	○:全部実施	▲一部実施(5割未満)
		10	静脈路確保（小児・新生児を含む）	○:全部実施	△一部実施(5割以上)
		11	静脈ライン・動脈ラインの抜去及び止血（小児・新生児を含む）	○:全部実施	△一部実施(5割以上)
	カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為	12	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの抜去（小児・新生児を含む）	○:全部実施	▲一部実施(5割未満)
		13	皮下埋め込み式CVポートの穿刺	○:全部実施	△一部実施(5割以上)
		14	手術時、手術部位（創部）の消毒・ドレーピング	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		15	処置行為 ＜爪切り・鶏眼処置・創傷処置・ドレーシング抜去・抜糸・軟膏処置＞	○:全部実施	○:全部実施
		16	胃管・EDチューブの挿入及び抜去（小児を含む）	△一部実施(5割以上)	▲一部実施(5割未満)
		17	尿道カテーテル留置	○:全部実施	○:全部実施
	診察前の情報収集	18	診察前や検査前の情報収集（病歴聴取・バイタルサイン測定・トリアージ、服薬状況確認、チェックシートを用いるなどしたリスク因子のチェック、検査結果の確認）	○:全部実施	○:全部実施
	その他	19	検査等の説明（各種書類の説明・同意書の受領）	○:全部実施	○:全部実施
		20	光線療法開始・中止及びその結果について客観的な結果の記述や入力	○:全部実施	○:全部実施
		21	薬剤指導、患者教育	○:全部実施	○:全部実施
		22	入院時の説明（オリエンテーション）	○:全部実施	○:全部実施
		23	病院救急車での患者搬送時の同乗	－:該当業務なし	－:該当業務なし
		24	院内での患者移送・誘導	○:全部実施	○:全部実施
		25	手術後患者の看護	○:全部実施	○:全部実施
		26	他診療科手術終了後に引き続き執刀する際の時間調整・連絡	○:全部実施	○:全部実施

職種			業務内容	取組目標 ※R7以降は当年度の 取組目標を記入	取組実績 [年度始期] ※前年度までの実績	取組実績 [確認時点]
				〇:全部実施 △:一部実施(5割以上)	〇:全部実施 △:一部実施(5割以上)	〇:全部実施 △:一部実施(5割以上)
助産師	院内助産	1	院内助産システム<低リスク妊婦の分娩管理（一部）・妊産婦の保健指導>	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	助産師外来	2	助産師外来 <低リスク妊婦の妊婦健診（一部）・妊産婦の保健指導>	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
薬剤師	周術期における薬学的管理等	1	手術室において、薬剤に関連する業務の実施 <手術で使用する薬剤の払い出し・手術後残薬回収・鎮静薬の調製・鎮静薬投与器具の準備・周術期に使用する薬学的管理>	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
	病棟等における薬学的管理等	2	病棟等における薬剤管理 <薬剤の在庫管理・ミキシング・ミキシングを行った点滴薬剤等のセッティング・与薬等の準備>	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等	3	事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更（※） <投与量変更・投与方法変更・投与期間変更・剤形変更・含有規格変更等>	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	薬物療法に関する説明等	4	患者の薬物療法全般に関する説明	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	医師への処方提案等の処方支援	5	手術後の患者を訪床して、 <術後痛を評価し、医師に鎮静薬を提案・術前に中止していた薬が術前指示通り再開しているかの確認>	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
		6	患者を訪床などして情報収集し、医師に処方提案や処方支援を実施 ・効果・副作用の発現状況や服薬状況の確認 ・診療録等から服薬内容の確認 ・多剤併用、検査結果や処方歴、薬物アレルギー情報の確認などを行い、医師に対して情報提供を行う	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	糖尿病患者等における自己注射や自己血糖測定等の実技指導	7	糖尿病患者の自己血糖測定やインスリン等自己注射等の実技指導 <直接侵襲性を伴う行為は実施できない>	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	その他	8	定期的・効果・副作用の発現状況や服薬状況の確認等を行うための分割調剤			
		9	薬の効果・副作用状況の把握、服薬指導の実施	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
診療放射線技師	撮影部位の確認・検査オーダーの代行入力等	1	撮影部位の確認・追加撮影オーダー（医師の事前指示に基づく実施） <検査で認められた所見について、客観的な結果を確認し、医師に報告>（※）			
	画像誘導放射線治療（IGRT）における画像の一次照合等	2	画像誘導放射線治療(IGRT)における日々の照射に際し、放射線治療計画を基準とした位置照合 画像の一次照合を行い、一定基準を超えた位置誤差を確認した場合に医師に報告し判断を仰ぐ	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	放射線造影検査時の造影剤の投与、投与後の抜針・止血等	3	放射線造影検査時の造影剤注入確認・抜針・止血	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
	血管造影・画像下治療（IVR）における補助行為 ※全医療職種が対応可能	4	血管造影・画像下治療（IVR）における医師の指示の下、画像を得るためカテーテル及びガイドワイヤー等の位置を医師と協働して調整する操作（※）			
		5	画像下治療（IVR）術前における医師等により事前作成されたチェックリストに基づく、 ・採血結果の確認 ・リスクファクターの確認 ・服薬状況の確認 ・医師への報告			
	病院又は診療所以外の場所での医師が診察した患者に対するエックス線の照射	6	病院又は診療所以外の場所での、診察後の患者に対する医師又は歯科医師の指示による出張して百万電子ボルト未満のエネルギーを有するエックス線の照射	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	放射線検査等に関する説明、同意書の受領	7	検査や治療の説明と同意（含む相談） 放射線検査（CT/MRI/RI)の説明や副作用に関する説明、検査前の問診 IVRの定型的な手技の説明、被ばくに関する説明			
	放射線管理区域内での患者誘導	8	放射線管理区域内での患者誘導			
	医療放射線安全管理責任者	9	医療放射線安全管理責任者			
	その他	10	診療放射線技師が実施可能な検査結果に異常を疑った際の医師への連絡			
	R3年度改正項目	11	・病院又は診療所以外の場所における医師又は歯科医師が診察した患者に対する、その医師又は歯科医師の指示を受け、出張して超音波診断装置その他の画像による診断を行うための装置であつて厚生労働省令で定めるものをを用いた検査（※）	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		12	・静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
		13	・動脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確保のためのものを除く。)及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為	〇:全部実施	〇:全部実施	〇:全部実施
		14	・核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為			
		15	・下部消化管検査のために肛門にカテーテルを挿入する行為、当該カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為並びに当該カテーテルから造影剤及び空気を吸引する行為（※）			
		16	・上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為			

職種			業務内容	取組目標	取組実績	取組実績
				※R7以降は当年度の 取組目標を記入	[年度始期] ※前年度までの実績	[確認時点]
臨床検査技師	心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作	1	心臓・血管カテーテル検査、治療における超音波検査や心電図検査、血管内の血圧の観察・測定等、直接侵襲を伴わない検査装置の操作	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	負荷心電図検査等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などの確認	2	負荷心電図検査等の生理学的検査実施前に患者に装着されている生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などのバイタルサインを確認し、医師等と事前に取り決められた範囲の値になっているかどうかなどを確認し、検査を実施が可能かどうかを確認する	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)
	持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定	3	持続陽圧呼吸療法導入の際に行う陽圧の適正域を測定する検査 ＜脳波、心電図、呼吸の気流を検知するフローセンサー、いびき音を拾うマイクロフォン、胸壁・腹壁の拡張を検知する圧センサーの装着・脱着＞	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	生理学的検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引	4	生理学的検査（省令第1条の2）実施の際の口腔内からの喀痰等の吸引	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	検査にかかる薬剤を準備して、患者に服用してもらう行為	5	検査にかかる薬剤を準備して、患者に服用してもらう 糖負荷試験にかかるブドウ糖液を患者に渡し服用してもらう 気道可逆性検査（呼吸機能検査）にかかる気管支拡張剤を患者に吸入してもらう 脳波検査にかかる睡眠導入剤を患者に渡し服用してもらう 尿素呼気試験の尿素錠を患者に渡し服用してもらう	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)
	病棟・外来における採血業務	6	病棟・外来における採血業務（血液培養を含む検体採取）	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作	7	血液製剤の洗浄・分割 血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領	8	医師の説明等の前後に輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意（輸血療法や輸血関連検査の意義・解釈、輸血のリスクなど） 医師と患者、家族等が十分な意思疎通をとれるよう調整 輸血承諾書への署名を求め受領	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	救急救命処置の場における補助行為の実施	9	救急救命処置の場において、医行為に含まれない補助行為の実施 ＜生理学的検査・採血、検体検査、検査室への搬送・血圧測定 など＞	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	細胞診や超音波検査等の検査所見の記載	10	細胞診や超音波検査等の検査所見を報告書に記載し、担当医に交付（※）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成	11	所見の下書きの作成 ＜生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等＞	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	病理診断における手術検体等の切り出し	12	手術検体等に対する病理診断における切り出し	△一部実施(5割以上)	一:該当業務なし	▲一部実施(5割未満)
	画像解析システムの操作等	13	画像解析システムの操作、デジタル病理画像のスキャナー取り込み、取り込んだ画像データの管理、デジタル病理画像管理機器装置の調整	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)
	病理解剖	14	病理解剖（※）	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	その他	15	超音波検査（※）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
		16	病理診断書のダブルチェック ＜誤字脱字、左右や臓器記載違い等＞	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		17	輸血実施後、副作用出現の有無の観察、異変出現時、医師等への状況報告	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		18	健診等で行う接触を伴わない簡易な視力測定・眼圧測定	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	R3年度改正項目	19	・医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		20	・内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		21	・運動誘発電位検査	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		22	・体性感覚誘発電位検査	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		23	・持続皮下グルコース検査	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		24	・直腸肛門機能検査	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		25	・法第11条に規定する採血(以下この条において「採血」という。)を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		26	・採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為(電解質輸液の点滴を実施するためのものに限る。)	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		27	・採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		28	・超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為	一:該当業務なし	一:該当業務なし	一:該当業務なし

職種	業務内容		取組目標 ※R7以降は当年度の 取組目標を記入	取組実績 [年度始期] ※前年度までの実績	取組実績 [確認時点]
臨床工学技士	心臓・血管カテーテル検査・治療時に使用する生命維持管理装置の操作	1	心臓・血管カテーテル検査・治療時に使用する生命維持管理装置の操作	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
	人工呼吸器の設定変更	2	人工呼吸器の設定変更		
	人工呼吸器装着中の患者に対する動脈留置カテーテルからの採血	3	人工呼吸器装着中の患者に対する、血液ガス分析のため、動脈留置カテーテルから採血(カテーテル採血)		
	人工呼吸器装着中の患者に対する喀痰等の吸引	4	人工呼吸器装着中の患者に対する、喀痰等の吸引		
	人工心肺を施行中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更	5	医師の具体的指示の下、人工心肺中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整 <人工心肺中の患者:生命維持管理装置装着中の患者>	○:全部実施	○:全部実施
	血液浄化装置を操作して行う血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	6	医師の具体的指示の下、血液浄化装置を操作して行う血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	○:全部実施	○:全部実施
	血液浄化装置のバスキュラーアクセスへの接続を安全かつ適切に実施する上で必要となる超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの血管径や流量等の確認	7	血液浄化装置の操作を安全かつ適切に実施する上で必要となる血液浄化に用いるバスキュラーアクセスの状態についての超音波診断装置を使用した確認	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
	全身麻酔装置の操作	8	医師の具体的な指示の下、全身麻酔装置(「生命維持管理装置」に該当)の操作		
	麻酔中にモニターに表示されるバイタルサインの確認、麻酔記録の記入	9	麻酔中にモニターに表示されるバイタルサインの確認、麻酔記録の記入(代行入力)		
	全身麻酔装置の使用前準備、気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備	10	麻酔器の使用前準備、気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備<使用予定薬剤のピッキング>	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
	手術室や病棟等における医療機器の管理	11	手術室や病棟等の医療機器(麻酔器やシリンジポンプ等)の管理 <保守点検・医療機器の修理、対応・病棟等の機器管理(機器の取り寄せ・管理・補充・返却など)>	○:全部実施	○:全部実施
	各種手術等において術者に器材や医療材料を手渡す行為	12	・内視鏡検査・治療時や整形外科や心臓血管外科等の手術 ・心臓・血管カテーテル検査・治療 ・中心静脈カテーテル留置 ・胃管挿入 等 において、清潔野で術者に器材や診療材料を手渡す		
	生命維持管理装置を装着中の患者の移送	13	手術後、又は集中治療室において、各種ラインの整理・麻酔科医等とともに患者の手術室退室誘導		
	R3年度改正項目	14	・血液浄化装置の穿刺針その他の先端部のシャント、表在化された動脈若しくは表在静脈への接続又はシャント、表在化された動脈若しくは表在静脈からの除去	○:全部実施	○:全部実施
		15	・手術室又は集中治療室で生命維持管理装置を用いて行う治療における静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続、薬剤を投与するための当該輸液ポンプ又は当該シリンジポンプの操作並びに当該薬剤の投与が終了した後の抜針及び止血		
		16	・生命維持管理装置を用いて行う心臓又は血管に係るカテーテル治療における身体に電気的刺激を負荷するための装置の操作	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		17	・手術室で生命維持管理装置を用いて行う鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラの保持及び手術野に対する視野を確保するための当該内視鏡用ビデオカメラの操作		
理学療法士	リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付	1	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付 (リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等)や非侵襲的検査の定型的な検査説明	○:全部実施	○:全部実施
作業療法士	リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付	1	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付 (リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等)や非侵襲的検査の定型的な検査説明	○:全部実施	○:全部実施
	作業療法を実施するにあたっての運動、感覚、高次脳機能(認知機能を含む)、ADL等の評価等	2	作業療法を実施するにあたっての評価として行う運動、感覚、高次脳機能、ADL、IADL等に関する検査、並びに生活状況(ADL、IADL、本人の趣味・興味・関心領域等)、療養上の課題の聞き取り、把握	○:全部実施	○:全部実施
言語聴覚士	リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付	1	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付(リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等)や非侵襲的検査の定型的な検査説明	○:全部実施	○:全部実施
	侵襲性を伴わない嚥下検査	2	医師又は歯科医師のプロトコールに基づき侵襲性を伴わない嚥下検査を実施し、その検査結果について客観的に解釈し、医師に報告(※)	○:全部実施	○:全部実施
	嚥下訓練・摂食機能療法における患者の嚥下状態に応じた食物形態等の選択	3	嚥下訓練・摂食機能療法において、患者の嚥下状態に応じた食物形態等の選択	○:全部実施	○:全部実施
	高次脳機能障害、失語症、言語発達障害、発達障害等の評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の実施等	4	高次脳機能障害(認知症含む)、失語症、言語発達障害、発達障害などの評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の提案、実施及び検査結果を解釈し、医師に報告	○:全部実施	○:全部実施
視能訓練士	白内障及び屈折矯正手術に使用する手術装置への検査データ等の入力	1	白内障及び屈折矯正手術に使用する手術装置に手術前に視機能検査機器等で得た検査データ等を入力	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	視機能検査に関する検査結果の報告書の記載	2	検診時の視機能検査の実施と評価、検診結果報告書の作成	一:該当業務なし	一:該当業務なし
義肢装具士	義肢装具の採型・身体へ適合のために行う糖尿病患者等の足趾の爪切等	1	安全かつ適切に義肢装具の装着部位の採型・身体へ適合させるために行う、 ・糖尿病患者等の足趾の爪切り・胼胝等の研磨・切断術後のドレッシング等の断端形成	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	装具を用いた足部潰瘍の免荷	2	装具を用いた足底部潰瘍の免荷	一:該当業務	一:該当業務
	切断者への断端管理に関する指導	3	切断者への断端管理に関する指導	一:該当業務	一:該当業務
	その他	4	義肢装具を装着する予定の患部の装着部位の採型のために行うギブスカット・ギブス巻き	一:該当業務	一:該当業務

職種	業務内容		取組目標 ※R7以降は当年度の 取組目標を記入	取組実績 [年度始期] ※前年度までの実績	取組実績 [確認時点]
救急救命士	病院救急車による患者搬送の際の患者観察	1	病院救急車による患者搬送の際の患者観察	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	救急外来等での診療経過の記録	2	救急室等での診療経過の記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	救急外来での救急患者受け入れ要請の電話対応	3	救急室での救急車受け入れ要請の電話対応	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	その他	4	病院内での患者移送	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	R3年度改正項目	5	救急外来の重度傷病者の救急救命活動	一:該当業務なし	一:該当業務なし
医師事務作業補助者	診断書等の文書作成補助	1	紹介状の返書	○:全部実施	○:全部実施
		2	介護保険主治医意見書	○:全部実施	○:全部実施
		3	特定疾患（難病）臨床調査個人表	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
		4	レセプトに関する症状詳記	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		5	入院診療計画書の作成	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		6	診療情報提供書	○:全部実施	○:全部実施
		7	損保会社等に提出する診断書	○:全部実施	○:全部実施
		8	身障障害者診断書	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		9	労災後遺障害診断書	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	診療記録への代行入力	10	外来診療録作成（SOAP全て記載）	○:全部実施	○:全部実施
		11	外来診療録作成（その他）	○:全部実施	○:全部実施
		12	病棟回診の記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		13	手術記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		14	麻酔記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		15	退院サマリーの作成	○:全部実施	○:全部実施
		16	検査の指示	○:全部実施	○:全部実施
		17	画像の指示	○:全部実施	○:全部実施
		18	処置の指示	○:全部実施	○:全部実施
		19	食事の指示	○:全部実施	○:全部実施
		20	内服薬の処方	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
		21	注射薬の処方	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
		22	クリニカルパスの入力	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		23	地域医療連携バスの入力	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		24	初診患者への予診の記録	○:全部実施	○:全部実施
		25	再診患者への予診の記録	○:全部実施	○:全部実施
		26	診察・検査の予約・変更・調整	○:全部実施	○:全部実施
		27	入院予定患者の入力	○:全部実施	○:全部実施
	医療の質の向上に資する事務作業	28	がん登録（院内・全国）	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		29	NCD登録	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
		30	JND登録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		31	JCVSD登録	○:全部実施	○:全部実施
		32	診療録や画像結果などの物的整理	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		33	臨床データ集計	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		34	学術論文などの資料の検索	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		35	臨床研修のための資料作成	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		36	教育や臨床研修のカンファレンス準備	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		37	カンファレンスの記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	入院時の案内等の病棟における患者対応業務	38	検査のための説明・同意書取得	○:全部実施	○:全部実施
		39	入院手続きの説明・同意書取得	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		40	検査・手術等の日程調整	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
		41	次回来院時の説明	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		42	逆紹介の説明	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		43	院内での患者移送・誘導	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	行政上の業務	44	救急医療情報システム入力	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		45	感染症サーベイランス事業	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		46	ヒヤリ・ハット事例収集事業	一:該当業務なし	一:該当業務なし

※1 タスク・シフト/シェアを進めるに当たっては、医療安全の確保及び現行の資格法における職種毎の専門性を前提として、各個人の能力や各医療機関の体制、医師との信頼関係等も踏まえることが重要である。計画の作成、見直しにあたって別添2－1を参考とする場合には、当該観点について十分留意すること。

※2 「取組実績」の欄について、計画に記載していない場合でも、医療機関として実施している業務内容には「○全部実施」など該当するものを選択すること。一方で、計画には取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については必ず記載することとし、必ずしも医療機関で実施している取組の全てを記載しないこととしても差し支えない。

※3 計画の「取組実績」の欄について、参考資料において全部又は一部を代替することとしても差し支えない。その場合、計画に参考資料参照等と記載すること。また、当該対応を行う場合であっても、取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については計画に記載すること。

（別添 2 - 2）労働時間短縮に向けた取組（医師の業務の見直し、その他勤務環境改善のための取組）

取組の状況は「取組内容」毎に医療機関内のすべてで実施している場合のほか、一部の診療科、一部の病棟等で実施している場合も考えられることから、医療機関内のすべてで実施している場合には「○全部実施」を、一部の診療科や病棟等で実施している場合には「△一部実施(5割以上)」又は「▲一部実施(5割未満)」を選択すること。

（2）医師の業務の見直し

取組内容			取組目標 ※R7以降は当年度の取組目標を記入	取組実績 [年度始期] ※前年度までの実績	取組実績 [確認時点]
宿日直体制の見直し	1	宿日直シフトの見直し（診療科毎の宿日直体制からの見直し）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	2	オンコールの当番制の実施（宿日直からオンコール体制への変更）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	3	交替制勤務導入			
	4	宿日直を担う医師の範囲の拡大（短時間勤務医師や中堅以上医師の参画）			
	5	宿日直中の業務の見直し			
	6	休日当番制の実施	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	7	当直明けの勤務負担の軽減	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	8	当直帯の申し送り時間帯を設定	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
複数主治医制等の導入	9	複数主治医制・チーム制の導入	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
医師間のタスクシフト／シェア	10	病院総合医（ホスピタリスト）の配置			
	11	術後管理業務を集中治療医・麻酔科医・救急医等にタスクシフト			
カンファレンス等の勤務時間内実施や所要時間の短縮	12	カンファレンス・院内委員会等の会議の勤務時間内実施	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	13	カンファレンス・院内委員会等の会議の所要時間の短縮	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	14	カンファレンス・院内委員会等の会議のWEB化			
	15	回診の回数、実施時間、参加者等の見直し	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
患者・家族へ病状説明の勤務時間内実施	16	患者・家族へ病状説明の勤務時間内実施	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	17	患者・家族へオンラインでの病状説明			
その他医師の業務の見直し	18	クリティカルパスの作成等による業務の標準化	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	19	研修医の学習環境の向上（経験の見える化による効果的な業務配分等）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	20	外来の機能分化（紹介逆紹介の活性化）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施

※1 「取組実績」の欄について、計画に記載していない場合でも、医療機関として実施している業務内容には「○全部実施」など該当するものを選択すること。一方で、計画には取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については必ず記載することとし、必ずしも医療機関で実施している取組の全てを記載しないこととしても差し支えない。

※2 計画の「取組実績」の欄について、参考資料において全部又は一部を代替することとしても差し支えない。その場合、計画に参考資料参照等と記載すること。また、当該対応を行う場合であっても、取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については計画に記載すること。

(3) その他の勤務環境改善

取組内容		取組目標 ※R7以降は当年度の 取組目標を記入	取組実績 [年度始期] ※前年度までの実績	取組実績 [確認時点]	
ICTを活用した業務削減・業務効率化	1	副業・兼業先の労働時間、勤務間インターバルに対応した勤怠管理システムの導入			
	2	電子カルテ等への音声入力システムの導入	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	3	院外からの電子カルテ閲覧システム導入（スマートフォン等によるものを含む）	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	4	ビジネスチャット等医療関係者間コミュニケーションアプリ導入			
	6	電子カルテ等情報の視覚化・構造化による管理システム（手術室管理、救急センター管理、病床管理、患者容態管理等）の導入	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	7	外来診療WEB予約システムの導入			
	5	患者向け説明動画（入院前、検査、術前等）の導入	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	8	電子問診・AI問診システムの導入	○:全部実施		
	9	同意取得の電子化			
	10	生成AIによる文書作成補助の導入			
子育て世代の医師が働きやすい環境を整備	11	短時間勤務	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	12	時差出勤	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	13	変形労働時間制の導入			
	14	宿日直の免除	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	15	女性医師等就労支援事業・復職支援事業の実施、相談窓口	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
院内保育・病児保育・学童保育・介護サービスの整備や利用料補助等	16	院内保育の導入等	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	17	病児保育の導入等			
	18	学童保育の導入等			
	19	介護サービスの整備等			
医療機能の分化・連携	20	地域の病院間での機能分化（救急の輪番制の導入等）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	21	診療所の開所日時間拡大による救急対応の分散			
	22	開業医による病院外来支援			
	23	病院診療所間の双方向の診療支援			
	24	介護、福祉の関係職種との連携等			
その他勤務環境改善に向けた取組	25	患者相談窓口の設置（クレームを受けた場合のサポート体制の充実）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	26	病気と仕事の両立支援の取組	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	27	職員満足度調査の実施（意見聴取）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	28	労働時間管理に関する院内説明会	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施
	29	医師等との意見交換会（医師労働時間短縮計画の作成・見直しのための意見交換を含む）	○:全部実施	○:全部実施	○:全部実施

※1 「取組実績」の欄について、計画に記載していない場合でも、医療機関として実施している業務内容には「○全部実施」など該当するものを選択すること。一方で、計画には取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については必ず記載することとし、必ずしも医療機関で実施している取組の全てを記載しないこととしても差し支えない。

※2 計画の「取組実績」の欄について、参考資料において全部又は一部を代替することとしても差し支えない。その場合、計画に参考資料参照等と記載すること。また、当該対応を行う場合であっても、取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については計画に記載すること。